

私は今回のハンフォード研修を通じて多くのことを感じました。ハンフォード地域の放射能汚染は、克服していかなければならない苦痛ではなく、地域住民にとって新しい機会だと感じました。地域住民の方々は、ハンフォードサイトのクリーンナップを通して、新しいことにチャレンジでき、それらの仕事はすべて地域住民として誇りに思っているようでした。地元の学校も同様に、この地域に必要なことを教え、卒業後も地域で働けるようなシステムが完成しているのがすごいと感じました。

他にも、ハンフォードはとても広くて自由な雰囲気、みなさん親切でした。おいしい食べ物や美しい自然など、私は福島と似ている点が多かったと感じました。ハンフォード地域の人々のように、これから私が生きていく福島のためにできることを探して、福島県の復興に役立つ人になりたいと思います。

また、初めてアメリカに行って現地で様々な方たちとコミュニケーションをしながら、英語に対する動機付けを得るようになりました。長い間英語を勉強しましたが、研修初日には相手の言うことが理解できませんでした。しかし、時間が経つにつれて適応しながら英語が聞こえて話もできるようになり、楽しく勉強できたと思います。もう少し勉強すれば相手の言うことを全部理解して私が言いたいことを全部伝えられると思いき、日本に帰ってから引き続き英語の勉強をしていきたいと思いました。

今年の4月から東日本国際大学で働くことになった私にとって、とても有益な海外研修でした。今回の研修を通じて感じた福島に対する考えと英語勉強に対する動機付けなど今後の私にとっても役に立ったと思います。今回のハンフォード地域の研修を生かし、今後福島と東日本国際大学で必要とされる重要な人材になれるよう一層努力したいと思います。